かわら版あおば消防通信 21 号

平成 27 年４月発行：横浜市青葉消防署　協賛：青葉火災予防協会

減災対策①　地域の初期消火能力を高める

■横浜市とコンビニ８社で、「可搬式初期消火器具の設置協力に関する協定」を締結

横浜市ではこれまで、初期消火器具の設置普及を進めていますが、特に、住宅の密集する地域では、「初期消火器具を設置したいが、置く場所が見つからない」というご意見やご相談が多く寄せられました。

このような地域の皆様の声を受け、市内コンビニの運営会社に対して、設置場所提供の協力を依頼したところ、８社からご協力をいただくこととなりました。

■協定の内容

横浜市が、可搬式初期消火器具の設置について、自治会町内会の要望を取りまとめ、コンビニ各社と、該当する店舗との調整を行います。その後、各店舗と自治会町内会が個別の協定を締結し、実際に設置となります。（7月末日までに青葉消防署に応募してください。）

防火対策①　暖房器具をお手入れ

暖かくなり、ストーブなどの暖房器具をしまうときは、取扱説明書などの保管方法を確認しておきましょう。

誤った保管方法は、再使用する際に火災の原因となったり、機器の故障等の原因になります。

■　石油燃焼機具を長期間使用しないときの保管方法

給油タンクや固定タンク内の灯油は使い切ってください。

（理由）劣化した灯油を使用すると、正常燃焼せず、点火不良等の原因となります。

■　灯油の廃棄・不良灯油の処分

灯油の廃棄処分等は最寄のガソリンスタンドへ相談する。

（処分等を行っていないガソリンスタンドもありますのでご注意ください）

■　エアーフィルタ、温風空気取入口のゴミ、ホコリ等を清掃する。

■　長期間使用しないときは電源プラグを抜いておく。

家電製品をコンセントに差し込んだまま長年放置していると、電気プラグ部分にほこりがたまり、結露などで湿気を帯びると差し刃間で火花放電が発生し、火災となることがあります。

予防救急①　転倒

【事故事例】

① **段差につまずき**転倒し、足を骨折した。

② **床マットが滑り**転倒し、股関節を脱臼した。

③ トイレに行こうと**暗い部屋を移動中に**転倒し、あごをケガした。

④ **毛糸の靴下を履いて**いたため、床で滑り転倒し、腕を骨折した。

⑤ **電気機器のコードで**転倒し、腕をケガした。

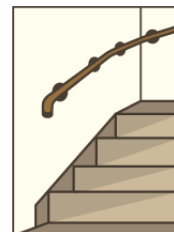
【事故予防対策】

① 部屋の**段差をなくす**（バリアフリー）、又はテープを貼って段差を明示する。

② 床マットは**滑り止めを敷く、固定**する、又は**撤去**する。

③ **部屋を明るくする、**人感センサーで**自動点灯の照明**にする、又は**手すりを取り付ける。**

④ **滑り止め付き靴下**を着用する。

⑤ **不要なコードは整理**する、又は**撤去**する。

「ケガの予防対策」より横浜市消防局発行

平成27年度「全国統一防火標語」決定！

《　無防備な　心に火災　かくれんぼ　》

青葉消防団の主な活動予定(４・５月)

【訓練等】

- ●4/19(日) 新入団員研修（青葉消防署）
- ●5/16(土) 幹部団員研修（　〃　）
- ●5/24(日) 上級救命講習（　〃　）
- ●5/31(日) 班長研修　　（　〃　）

【会議】

- ●4/15(水) 分団長会議（青葉消防署）